

新潟市と東京大学先端科学技術研究センターは 脱炭素社会の実現に向けた連携と協力に関する協定を締結します —ペロブスカイト太陽電池の取組加速化へ—

新潟市と東京大学先端科学技術研究センター（以下、東大先端研という。）は、持続可能な脱炭素社会の実現や産業の発展を目的に、環境・エネルギー分野の取組において連携・協力する協定を締結します。

【連携内容】

- (1) 次世代高性能太陽電池の社会実装をはじめとした再生可能エネルギーの導入促進に関する取組
- (2) 持続可能なまちづくりに関する取組
- (3) 環境と経済の好循環に関する取組
- (4) 脱炭素型ライフスタイルの実践に関する取組
- (5) その他目的達成のために必要な取組

【ペロブスカイト太陽電池】



出典：先端研マスターブック 2025
「瀬川研で開発した変換効率 20%を超えるペロブスカイト太陽電池フレキシブルミニモジュール」

【協定に係る取組】

具体的な内容、実施方法、役割分担等については、都度協議し、決定します。

取組想定) ペロブスカイト太陽電池に関する連携・協力

- ①情報発信・普及啓発
- ②実証実験・地域実装
- ③市内事業者の技術開発・人材育成支援 など

【シンポジウムの開催】

ペロブスカイト太陽電池に関する普及啓発としてシンポジウムを開催し、東大先端研 瀬川 浩司 教授よりご講演いただきます。そのほか、先行事例の紹介や市内の官民パネリストの議論により、市民・事業者の機運醸成を図ります。



「発電する街 にいがた」
 日時：令和 8 年 1 月 21 日（水）13：30～16：50
 会場：新潟日報メディアシップ 2 階 日報ホール
 登壇：東大先端研 瀬川 浩司 教授
 三菱ガス化学株式会社、
 パナソニックホールディングス、
 愛知県環境局 地球温暖化対策課
 ほか、市内の官民パネリスト